「2020年度獨協大学遠隔授業支援特別奨学金」の給付を発表

4月23日、2020年度春学期の授業を全面的に遠隔授業（オンライン授業等）に移行するにあたり、学生の学修環境整備への負担軽減のため、全学部生・大学院生に「2020年度獨協大学遠隔授業支援特別奨学金」として10万円を給付することを発表した。

同制度の申請期間は5月11日(月)から17日(日)、給付は5月18日(月)から22日(金)を予定。申請方法、給付方法等の詳細は、改めて大学ホームページ等で告知する。

就職活動を行う学生に対するキャリアセンターの支援体制

入構制限期間中にキャリアセンターでは、様々な学生サポートを行っている。遠藤良雄キャリアセンター事務課長は「今後も学生をサポートする取組みを随時実施していく予定です。PorTaⅡにて具体的な内容を連絡しますので、最新の情報を必ず確認してください。キャリアセンターは皆さんの就職活動をしっかりサポートしていきます」と述べた。

キャリアセンターの主な就職支援（4月24日現在）

- 電話による問い合わせ（簡易な進路・就職相談）
- 求人情報の配信（PorTaⅡ）　・就職活動体験記の配信（PorTaⅡ）
- よくある質問に関するQ&A集の配信（PorTaⅡ）
- 就職活動に役立つ電子書籍・動画の学外からの閲覧（要VPN接続）　など

有吉ゼミの学生が田畑裕明衆議院議員（95年済卒）事務所でインターンシップ実施

経済学部有吉秀樹ゼミの加藤大貴さん（営3年）が2月17日から21日まで、萬谷美咲さん（営3年）が3月2日から6日まで、卒業生である田畑裕明衆議院議員の事務所でインターンシップを行った。加藤さんは「一歩先を見据えた行動の大切さ、信頼関係の築き方といった、これからに生かせる要素が多く見つかった」、萬谷さんは「情報を鵜呑みにせず自分の目で確かめることの大切さと、組織で働くうえでの当事者意識の重要性を学ぶことができ、今後のゼミ活動や社会人生活に向けて大きな収穫があった」と感想を述べた。

＜2021年3月・9月卒業予定者対象＞卒業アルバム個人撮影について

詳しい日時や場所等が決まり次第、卒業アルバム編集委員会ホームページでお知らせします。

問合せ：学友会本部 卒業アルバム編集委員会（学生センター3階）
http://www2.dokkyo.ac.jp/~club0080/
✉ sotsuaru@dokkyo.com

メディアに登場した獨協大学（2月16日～4月15日）

- ■本学在学生の中村真優さん（総3年）が「第52回ミス日本コンテスト2020」で「水の天使」に選ばれた（3月1日・東京新聞朝刊・22面）
- ■右崎正博名誉教授　新型コロナウイルス対策として政府が緊急事態宣言を出せる新型インフルエンザ等対策特別措置法（特措法）の改正について連名でコメント（3月10日・東京新聞朝刊・2面）
- ■森永卓郎経済学科教授　「父の口座どこ　地獄の相続手続き」と題し、相続についてのインタビュー記事が掲載された（3月10日・朝日新聞朝刊・27面）

2020年度新入生入学

4月1日、学部生1948名、大学院生8名が、獨大生への仲間入りを果たした。この日に予定していた入学式は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止となった。

山路朝彦学長は、ホームページ新入生向けのメッセージを発表。その中で「今回の悲惨を克服した後、世界は変わります。より良い世界を構想し、そこに至る道筋を提示することが学術であり、大学です。皆さんも、そうした教育・研究共同体の一員となり、共に考え、学び続けていきましょう」と呼びかけた。2020年度入学者数は以下のとおり。

学部生

ドイツ語学科	132名
英語学科	270名
フランス語学科	97名
交流文化学科	103名
言語文化学科	173名
経済学科	312名
経営学科	313名
国際環境経済学科	146名
法律学科	241名
国際関係法学科	88名
総合政策学科	73名
合計	1,948名

※編入学、再入学を除く

大学院生

法学研究科	博士前期課程	1名
外国語学研究科	博士前期課程	1名
経済学研究科	博士前期課程	6名
合計		8名

（2020年4月1日現在）

いま、わたしにできること　卒業生が地元秩父のテイクアウト情報を発信

新型コロナウイルス感染症の拡大は、地域経済に大きな影響を与えている。こうした状況を改善するため、浅見裕（あざみゆたか）さん（05年律卒）は、埼玉県秩父市とその周辺地域でテイクアウトや配達サービスを提供している店舗情報をまとめたホームページを制作した。

今年は暖冬の影響で、地域の観光資源の氷柱（秩父市・横瀬町・小鹿野町）が形成されず、前年に比べ地元飲食店の売り上げが芳しくなかった。そんな中、コロナウイルスの感染拡大で追い打ちがかかり、売り上げが大きく減少している。浅見さんは普段から、ボランティアで地元の仲間とともに地域おこしイベントやワークショップなどを開催している。今回も、それらの取り組みの一環で行動を起こした。ホームページについて「頑張っている飲食店のみなさんを応援したかった。また、市民に『食』を楽しむ機会を提供することにもなる。こうしたサービスを上手に利用し、リラックスしてもらえたら」と、制作への思いを語った。

上・浅見裕さん
右・ページ内からダウンロード可能な店舗情報一覧とMAP
https://chichiburu.com/